

平成 30 年 1 月 31 日

報道機関 各位

富山県内初！ 富山大学附属病院が手術支援ロボット da Vinci Xi サージカルシステムによる縦隔腫瘍摘出術を実施

富山大学附属病院（病院長：齋藤滋）は、去る 1 月 22 日、最新の手術支援ロボット da Vinci Xi サージカルシステム（以下、「ダ・ヴィンチ」）による縦隔腫瘍摘出術を下記のとおり実施しました。

ダ・ヴィンチは、患者さんの体を開けた小さな穴を通じてロボットアームを体内に挿入し、カメラによって映し出される 3D 映像を見ながら、ロボットアームを操作して手術を行うシステムです。従来の開胸手術と比べ低侵襲で出血が少なく、胸腔鏡手術では操作困難な狭い空間でも患者さんの負担の少ない手術を行うことができます。手ぶれの影響を受けず精密に動作するロボットアームで手術を行うことにより、より正確で安全な手術を行うことが可能です。富山県内では初の実施となります。

今後とも、富山大学附属病院は富山県民の皆様に最先端の医療を提供して参りたいと考えております。

記

1. 実施日：平成 30 年 01 月 22 日（月）
2. 実施場所：富山大学附属病院手術室
3. 術式名：ロボット支援胸腔鏡下縦隔腫瘍摘出術
4. 執刀医：本間崇浩 副診療科長／診療講師を中心とした呼吸器外科チーム
5. 患者：70 歳代、女性

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学附属病院
第一外科（呼吸器一般外科部門）
副診療科長／診療講師 本間崇浩
診療科長／教授 芳村直樹
TEL. 076-434-7330